

名家連ニュース

令和6年7月13日(土)
発行：特定非営利活動法人
名古屋市精神障害者家族会連合会
会長 池山 豊子
TEL/FAX (052) 846-5576 NO. 1004

◆◇ 令和6年6月家族SST講座 報告 ◇◇

令和6年度第3回家族SST講座が、6月29日(土)同朋大学博覧館2階会議室で開催されました。先月より同朋大学大学院生3名も参加され、吉田先生、臨床心理士の津端さん、参加者5名(役員含む)の10名で始まりました。

今回は、大学院生の皆さんが自己紹介の内容を考えて来て下さいました。「今、楽しみにしていること」学生さんたちは、ガンダムのプラモデルを作りたい、来週

のスーパーの特売に行く、両親から貰った赤ワインを飲むなど学生さんらしさの楽しみがありました。参加者からは、ご主人と焼き肉を食べに行く、趣味の仲間と作品展の打ち上げ、庭に植えた夏の花の開花、娘さんと映画に行くなど話されている表情がとても嬉しそうでした。

次に「最近の私・わが家」について近況報告をしていただきました。

Aさん近況⇒息子さんの暴走に振り回されている。勝手に引っ越しをした。引っ越しをしたが、家には帰っていないようだ。夕飯だけは実家に食べに帰ってくる。親は息子さんの考えていることが見えてこない。息子さんはA型の職員さんには相談をしていたようだが、辞めてはいないがA型から出て行ってしまった。母との会話の中で、「頭の中がごちゃごちゃしていて、整理がつかない！」と自分の状態を伝えた。

吉田先生からは、A型に行っていないようであれば母だけで相談しなくても第3者と相談してもいいのでは…。⇒A型の職員以外に相談する人はいない。⇒頭の中が整理つかない状態だけど、急いで結論は出さないほうがいいのでは？整理がつかない状態であることは主治医には伝えておいたほうがいい。又、夕食を食べに帰ってきたときは、「今日のおかずはおいしい？」とか息子さんの関心のある話をするといいのではと吉田先生から助言がありました。

Bさん近況⇒5月からグループホームに入居。1年半入院生活。息子さんは新しいことが不安、周りの支援者の助けが本人はよくわかってきた。日中はB型、地活に通っている。間食多い。週末は実家に帰る。母親の困りごとは、外泊して帰ってくると、母の気持ちの切り替えをどうしたらいいのかわからない。食事の支度など身構えてしまう。外泊時コンビニでチーズやポテチなど買って帰ってくる。肥満を意識して、和食を作るようにしている(母の気づかい)。「何食べる?」「自分で作る、自分で食べる。」と言う。「グループホームで何食べてるの?」と聞いてみる。グループホームで食べられない物を作ってあげる。間食も多い(口がさみしい?)。B型に行っているときは、終了するまで何も食べない。何かに集中していれば食べない。最近自分以外の人を信じて大丈夫と思えるようになった。今は支援者がついてるので母は口出しをしないようにしている。いい時もあればいろんな事が起きる時もある。

何かあったら又SST講座へ来てください。と吉田先生からアドバイスいただきました。

(文責 大橋)

